



文化の
ココロ

日本が誇る様々な伝統文化や芸術。ここでは、北区を拠点に、その伝承・創造に活躍される方々をご紹介します。今回は、何百もの鮮やかな色糸を用いた豪華絢爛な織物でありながら、派手ではなく高い品格を醸し出す「錦織」の作家としてご活躍の龍村周さんにお話を伺いました。錦とは、錦を飾る…など最高峰の美を表す言葉ですが、光によって様々な表情を見せることから、海外では「光の織物」とも呼ばれています。

「日本の美として世界に誇る錦の伝統織物」



ヴェエリチカの宝（寸法：700mm×535mm）

品格の高さ、自然のような美しさ

錦織は先染紋織物の一つで、あらかじめ必要な色に染めた絹糸を織り上げて作ります。糸の内部の透明感にまでこだわり、交響楽を奏でるように、それらが全体の色彩として調和するよう織り上げることで、金銀糸の煌びやかさの中にも品格を生み出します。錦織の美は、光の中で淡い色が幾重にも重なる自然の風景のような美しさであり、桜や紅葉など四季折々の美を愛でてきた私たち日本人の感性が宿っています。



光峯錦織工房（株式会社龍村光峯）
錦織作家

龍村 周さん

プロフィール

昭和49年 京都市出身 東京造形大学卒
株式会社龍村光峯代表取締役
一般財団法人日本伝統織物研究所代表理事として、日本が世界に誇る手織の先染紋織物を継承するため、関連工程すべてを調査し、職人や技術の伝承方法、機器道具類の保存等の研究に取り組んでいる。
平成22年～同志社大学プロジェクト科目嘱託講師
平成30年 京都市伝統産業「未来の名匠（西陣織）」認定
令和3年～大学共同利用機関法人 人間文化研究機構
国際日本文化研究センター共同研究員

暮らしの中から消えつつある伝統的なものの美しさ

織物業界は、需要減少や職人の後継者問題など大変厳しい状況が続いています。錦織をはじめ、伝統的なものの美しさは、これまでずっと日常の暮らしとともにありましたが、今では生活様式の変化で非日常のものとなりました。世界的にも稀少な存在である錦織やそれを支える技術が暮らしの中で受け継がれず、人々にその価値や良さが知られないまま消えてしまうかもしれない現状に、大きな危機感を持っています。

“ほんもの”を知ってほしい

錦織を知っていただくため工房で体験事業を実施し、錦織の質感・風合いを直接、肌で感じていただいています。実際に機を織ると「カタン」と心地よい音が響くのですが、多くの方が、知らないうちに心安らぎ、笑顔になられます。自然と調和したものには気持ち良さがあるんです。“ほんもの”に触れていただくことが、受け継がれてきた伝統的なものの価値や良さを見直すきっかけとなり、皆様の心が一層豊かになることを願っています。



光峯錦織工房
〒603-8107 北区紫竹下ノ岸町25
☎492-7275
FAX:493-8806
HP:<https://www.koho-nishiki.com/>



北区ゆかりの文化人が続々ご登場！ ～北区『文化のWA』ON AIR 情報～

北区ゆかりの文化人の皆様をゲストにお迎えする、ラジオミックス京都(FM87.0MHz)の番組「北区『文化のWA(わ)』」。11月・12月のゲスト出演者が決まりました。ゲストのお話から日本古来の美意識や価値観を感じるゆったりとしたひと時を、ぜひお楽しみください！

放送日時 毎月第4日曜 午後1時～1時15分

放送日	ゲスト
11月28日(日)	中島稔幸さん(静好堂中島 表具師)
12月26日(日)	速水宗燕さん(茶道速水流八世家元)

*過去の放送回は、ポッドキャストでもお聴きいただけます。
(龍村周さんは9月放送回にご出演いただいています。)

問合せ 地域力推進室 まちづくり推進担当 ☎432-1208



詳しくはコチラ

ラジオミックス京都では、放送局運営スタッフと番組パーソナリティーを募集中！詳しくは右記のサイト、または「ラジオミックス京都」で検索！



運営スタッフ



パーソナリティー

大切な人、
自分のために、
ワクチン接種を

新型コロナウイルスに感染してしまうと、若い方でも重症化のリスクがあり、若年層で軽症の方の過半数に嗅覚や味覚の障害、疲労感、記憶障害などの後遺症が発生することも報告されています。後遺症を軽減するためにも、ワクチン接種へのご協力をお願いします。
なお、本市の集団接種を希望される方は、ポータルサイトから予約するか、コールセンターにお申し込みください。

問合せ 京都市新型コロナワクチン接種コールセンター
☎0570-040808(通話定額プラン等でも料金が発生)／950-0808 FAX:950-0809
午前8時30分～午後5時30分(土・日・祝日も対応)

京都市 ワクチン ポータル

検索

